

# 学校図書館支援センターだより No.53

名取市図書館 学校図書館支援センター ☎382-5437 FAX382-5706

## 図書館この一年

### ＊ 研修会開催

学校図書館の司書、司書教諭（図書館担当者）、図書館司書の合同研修会を、年3回行っています。

第3回となる2月26日には、河北新報社 防  
災・教育室 えっちゅうやいくこ 越中 谷 郁子 氏をお招きし、小中学校  
における新聞活用について研修会を行いました。

「図書館で新聞との出会いを」と題し、前半は  
小中学校における新聞活用の方  
法や事例紹介が  
ありました。



後半のワークショップでは、当日の朝刊の中から参加者が気にな  
った記事をそれぞれ一つずつ選び、グループ内で発表しました。

### ＊ レファレンス

学校図書館からのレファレンス（調査相談）を受け付けています。資料が足りない、学校の資料だけでは調べきれないといったご相談にお応えします。今年度は22件のレファレンスがありました。

### ＊ 貸出

令和6年度貸出冊数 期間：2024年4月1日～2025年3月12日現在

《小学校》

（単位：冊）

増田	高館	愛島	館腰	下増田	不二が丘	増田西	ゆりが丘	相互台	那智が丘	閑上
122	159	83	87	171	83	21	40	123	1	25

《中学校》

（単位：冊）

増田	第一	第二	みどり台	閑上
25	19	49	56	26

※閑上小中学校は、前期課程（1～6学年）を小学校、後期課程（7～9学年）を中学校に分けて統計を取っています。

### ＊ 校外学習の受け入れ

市内の全小学校・義務教育学校の2学年児童（約800名）を受け入れ、図書館の施設見学、利用方法の説明、読み聞かせなどを行いました。

利用者カードを作り、実際に貸し出しを体験した学校もありました。





## 各種お知らせ

### (1) 国立国会図書館の遠隔複写サービス PDF 対応

国立国会図書館が2月20日から、同館が所蔵する資料の一部を複写して郵送するサービス「遠隔複写サービス」に加え、PDFでの複写物の提供を始めました。国立国会図書館に行くことなく、Web上で申し込んだ複写物のPDFをダウンロードできます。

お申込みできる方や複写対象資料は、受取方式によって異なります。また、複写料金も大きく異なりますので、よくご確認の上、お申込みください。

<https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html>

### (2) 宮城県図書館、「東日本大震災文庫展—記憶を記録に未来へ—」を開催中

3月8日から6月1日まで、宮城県図書館2階展示室において「東日本大震災文庫展—記憶を記録に未来へ—」を開催しています。

同展示では、発災から復旧・復興、そして現在に至るまでの宮城県の歩みについて、東日本大震災文庫の資料やパネルで紹介されます。入場無料です。

問い合わせ先：宮城県図書館 資料情報・震災文庫班 377-8498

### (3) ポプラ社、「第7回全国学校図書館POPコンテスト」の結果発表

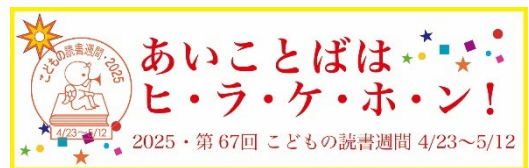
3月3日、株式会社ポプラ社が主催する第7回全国学校図書館POPコンテストの結果が発表されました。素敵な作品がホームページに掲載されています。

第8回も開催が決定しているとのこと。学校単位での応募のみ受付し、応募点数の上限は30枚です。詳細は4月14日以降、ポプラ社のホームページをご覧ください。

### (4) 「としょかんこどもまつり」開催

主催：名取市図書館友の会・なとと/名取市図書館

4月23日の「子ども読書の日」から始まる「子どもの読書週間」に合わせて開催します。



●開催日時：4月27日（日） 10：00～14：30

●場 所：図書館 児童コーナー

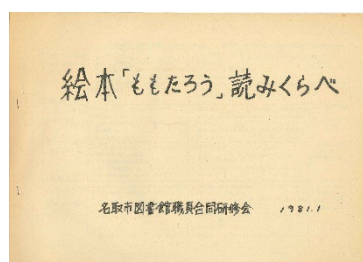
●内 容：Let's 理科読 mini～科学の絵本を楽しもう！～、絵本のお楽しみ袋、むかしばなし たんてい、シートン大友さんの動物アートギャラリー、布の絵本とおもちゃのコーナー

### 名取の学校図書館 そのむかし

退職された司書の佐々木サチさんが「子どもと読書 1994年11月号」に寄稿された、「学校図書館と市図書館の合同研修会」によると、昭和45年ごろ、市内すべての小中学校に司書（補）が配置されたそうです。当時は、各校に司書（補）がいるといっても横の連絡はなく、隣の学校の司書（補）の顔さえ知らない状態だったとか。交流を痛切に感じ、昭和50年に自主研修団体として学校図書館司書補会ができました。

### 昭和54年1月25日「図書館関係職員研修会（合同研修会）」発足

合同研修会は、学校図書館・市図書館のどちらともなく、研修の必要性を感じて発足。種々の研修をする中で印象に残っているのは、各分野の本の読みくらべなどです。



1981年の研修成果



1982年の研修成果